

# 令和3年度 ウミガメ学習会

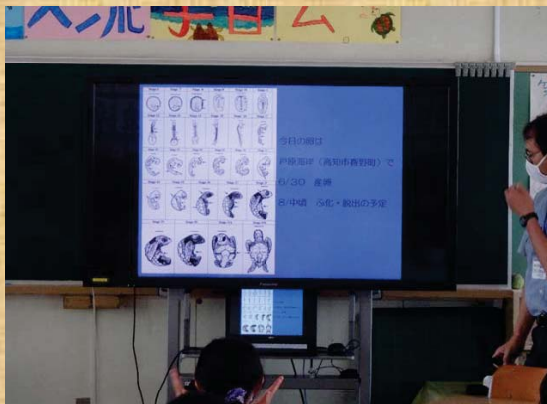
高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設から  
齊藤知己准教授が講師として高知市立春野西小学校に来てくれました。

(新型コロナウイルス感染対策により高知市立春野東小学校で行われた学習会には参加することができませんでした。)



# 教室での学習

- ①日本で産卵するウミガメ類 ②アカウミガメの一生と産卵 ③卵のひみつ  
④アカウミガメのふ化 ⑤子ガメの秘密 ⑥絶滅の危機に瀕するウミガメ



講師の方のはなしを真剣に聞き、メモをしっかりとっていました。  
生徒さんたちは授業の終了チャイムになると同時に講師の方の周りに集まって積極的に質問をしていました。

## 齊藤准教授から『クイズ』もありました！

### Q1 卵はどこに産んだでしょう？

Aさん…ここだと思います。

講師…他の意見はありますか？

Bさん…ここだと思います。

講師…正解はAさんです。

1回の産卵で約100個ほど産みます。

産卵時間は15分ほどで終わるけれどその後の穴埋めとカモフラージュ作業のほうに時間がかかります。

Q1



Aさん

Bさん

産卵直後にもかかわらず、力の限り大切な卵を守ろうとする強い思いが伝わってきますね。

### Q2 タイマイというウミガメの甲羅で作られる眼鏡はいくらでしょう？

Aさん…一万円くらいかな？

講師…他にこのくらいかなと思う意見はありますか？

Bさん…百万円。

講師…正解！（教室全体に響めきが…）

環境問題も関係しているが密漁者もいるため絶滅の危機が迫っています。

べっこう飴はご存知でしょうか？ タイマイの甲羅を加工すると色合いが似ていることから【べっ甲飴】と言われるようになったそうです。

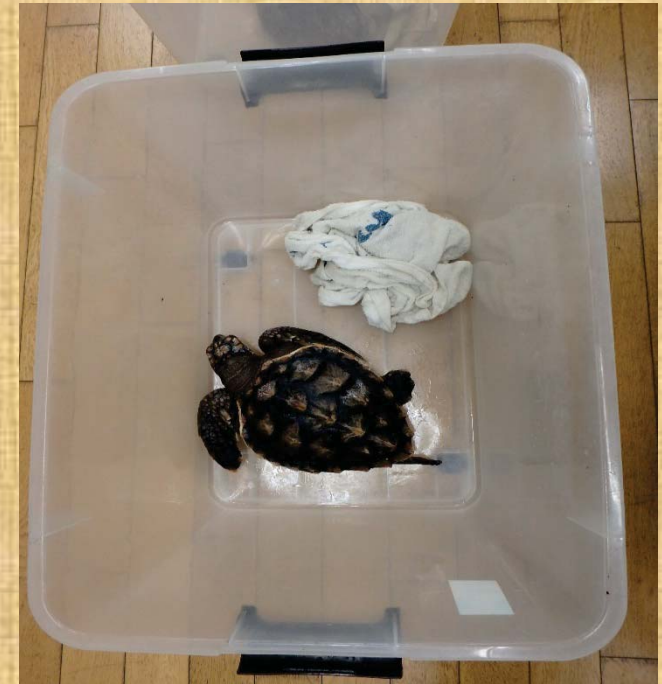
## 実習と観察



講師の方の指導のもと、卵の上下に気をつけながら無事に生まれてきますように…と願いを込めてそっと優しく小学校内の孵化場へ移植しました。

(上下が逆になったり、振動が加わると孵化しなくなってしまいます。)

昨年、孵化した『1才のアカウミガメ』  
生徒のみんなに大切に育てられ、体長およそ  
25センチから30センチほどに成長し元気一杯！

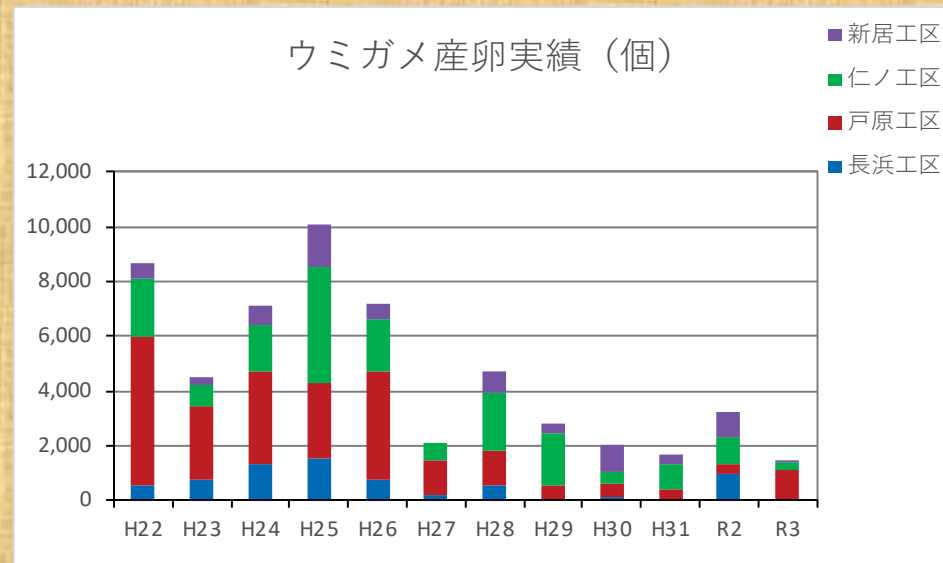


# ウミガメ産卵実績

高知海岸直轄工区

(単位：個)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
長浜工区	543	756	1,352	1,544	784	182	581	0	134	0	1,005	0
戸原工区	5,415	2,670	3,388	2,776	3,913	1,265	1,236	526	479	409	323	1,084
仁ノ工区	2,174	812	1,696	4,222	1,935	658	2,088	1,932	419	938	1,000	287
新居工区	546	279	709	1,540	562	0	787	366	995	317	896	109
合計	8,678	4,517	7,145	10,082	7,194	2,105	4,692	2,824	2,027	1,664	3,224	1,480



平成22年から高知海岸（直轄工区）に上陸したアカウミガメの産卵個数を記録していますが、今年度は集計を開始してから最も少ない結果となりました。いろいろな要因が考えられますが、人的な原因は軽減できるはずです。まずは自分に合ったスタイルをベースに出来ることから一緒に始めてみませんか。